



NPO Honokuni

Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 115 **穂の国森づくりの会**

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail./ honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

最近の物価高を受け、本会の財務から私の懐(苦笑)まで危機的な状況です。しかし、この商品の価格は果たして適正な価格かどうかということを変更して考える良い機会になりました。

手間ひまと資金をかけて育てた農産物や木材が、なぜ信じられないような安価で販売されているのか。SDGsの観点からみると商品の価格にCO₂削減のための金額が上乗せされているのか。輸入されてくる木製品やバナナ、カカオなどの生産者の人権はしっかり守られるよう価格に反映されているのか。残念ながら日本では不透明な商品が多いのが現状です。高値でも持続可能で適正な価格の商品を選択することを痛感しました。

(もりみの)

「ウッドパーク平尾」定期活動に参加しませんか！

まずは街の近くで森に親しもう、里地を再生しようという目標で2014年から整備を進めた「ウッドパーク平尾」(豊川市平尾町)里地環境再生活動。当初は、なかなか整備が進みませんでした。

そこで、愛知県で全国植樹祭が開催された2019年に合わせて、「ウッドパーク平尾里山づくり植樹祭」を開催し里地整備の参加者を募りました。その後、不定期的に植樹区域の下刈り作業を実施してきましたが、他の区域の整備は全くと言っていいほど放置状態になってしまいました。

この状況を打開するために、2021年から毎月第3土曜日を定期活動日として活動を再スタートしました(本誌4ページ参照)。当初は5名未満で、ひたすら植樹区域の下刈り、駐車場の草刈りに追われる日々が続きました。しかし、徐々に参加人数が増え、今では参加者が毎回10名~15名、最多で20名を超えるときもあるようになりました。その結果、現在はピオトープや多目的広場、休憩スペースなど植樹区域以外の整備が一気に進み、20~30名程度の子どもたちの環境学習の場として利用可能になっています。

実際に昨年(2022年)12月には、個人会員さんの紹介ではるばる半田市から親子25名の団体さんが訪れ、ピオトープの整備体験や昆虫採集、木登り体験などを満喫していただきました。

今後も、会員の皆様を優先的に環境学習からアウトドアまで幅広く利用いただけるよう、さらに整備を進めて行く予定です。



▲ 健康づくり講座

また、団体企業会員さん向けに、里地空間を活用した心と体の健康づくり講座などの福利厚生向けのメニューなども試験的に実施しています。企業団体会員の皆様、ぜひご活用ください。

なお、令和5年度の定期活動日は、本誌4ページをご参照ください。整備活動で汗を流すもよし。親子で昆虫採集をするもよし。ただひたすら森林浴でポーとするのもよし。ピザや焼き芋づくりも



▲ ピザづくり体験

よし(常設のピザ窯があります)。森林の多面的価値を十分に満喫していただければと思っています。皆様のご参加お待ちしております。

(もりみの)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その25
「岐阜薬科大学薬草園」
中西 正

初夏の薬草に楽しむin岐阜 2011.6.19

植物学のルーツは本草学で、江戸時代には医学や薬学の基となっていた。現在でも薬学教育には植物、特に薬草の教育が行われている。当然のことながら岐阜薬科大学にも薬草園が設置されており、そこは薬草の宝庫である。今まで本会では多くの薬草観察会を行ってきたが、それらは自然に出たことであつた。今回はこのように植物園になった。もう一つ異なることは、今まで行ってきたのは秋であつた。それは薬草としての利用部が根、茎や種子といった秋に充実するものであるためと思われる。今回は初夏で、植物を知るために有効な花がある時期になっている。今回の講師は高柳先生。



▲ 達目洞

中央には小川と呼ぶには豊富な水が流れる川があり、そこにヒメコウホネが生育している。放棄された田は湿地になりノハナショウブが生えている。現在、この場所は岐阜市の条例で保護されている。その説明のパンフレットに成瀬亮司先生の名前があつた。先生が見つけた、その指導の下に保全活動が行われるようになったとあつた。成瀬先生とは周伊勢湾要素植物の調査を一緒にしたことがあり、懐かしい名前に出会つたと思つた。

高柳久和先生は2014年6月3日にお亡くなりになつた。2011年の秋、静岡県の明神峡で観察会を計画したが雨天で中止、翌年にも同様な計画をしたが、これも中止になってしまった。このため、今回のこの薬草観察会が最後の観察会になってしまった。先生は植物だけでなく、蛾を中心とした昆虫にも詳しく、調査活動範囲も三遠南信、場合によっては岐阜県にも及んだ。『音羽町史』『豊川市史』では自然調査会の会長を務められた。

三河生物同好会では発足当時の会員で私個人としてもいろいろご指導していただいた。先生のご冥福をお祈りします。



▲ 岐阜薬科大学薬草園

薬草園では、植物が植えられている環境は大きく温室、圃場、産地の林下の3種類に分けられた。温室には貴重なものと加温を必要なものが多く、斑入りのドクダミが見られた。圃場に植わっているものは、日当たりと世話を必要とする一般的な栽培植物で、ベニバナ、ジギタリス、トウキなどがあつた。ウツボグサやイブキジャコウソウも薬草で、これらが植わっている場所はまるで花壇のようであつた。サルナシやホップはバーゴラに絡ませてあつた。林の下には日蔭環境と、ある程度放置できるオウレンが群生していた。今の時期は多くの植物が花を咲かせていた。いただいた資料には80種の名があり、薬用部、用途、開花時期などが載っていた。ここは一般公開されて、ガイドボランティアが組織されているということだつた。

薬草園の前は道を挟んで広大な芝地と畜産センターがあり、動物と触れ合える場所になっている。この芝地で食事をした後、金華山の東に位置する達目洞(たちぼくぼら)に寄つた。谷間の入り口付近にバイパスが通り、谷の中央を岐阜環状線が横切っている。その



▲ ヒメコウホネ



会員さんの森づくり探訪

シリーズPart20

株式会社TKさん

ホーム
ページ

(株)TKさん(本社:豊橋市牟呂町)は、アルミ、銅など非鉄金属全般のリサイクル原料を日本国内の溶湯メーカーや商社、リサイクル業者と売買を行い、東は関東一円、西は九州まで手広く事業範囲を展開されている会社です。2004年からは国際貿易事業も開始され、現在の国内外の取引比率は国内50%、海外50%にまで成長されているそうです。

SDGsの取り組みの一環として、2022年2月に当会が開催した「はじめての森づくり体験講座」に参加いただいてから、「ウッドパーク平尾活動」にも毎回参加いただいています。

(株)TKさんの森づくりへの参加の特徴は、まず細井社長が先頭に立ってベトナムやネパール、ブラジルなど多国籍のスタッフの方々が積極的に参加くださっていることです。この活動を通じて、将来森づくりの大切さを母国に伝えていただければと思っています。余談ですが、私は休憩時間に国々の文化の違いについて雑談するのが毎回楽しみで、特に食文化の違いは勉強になります。

もう一つの特徴は、仕事柄でしょうか。スタッフの皆さんのパワーが抜群です。1日中かかるかと思っていた作業を半日で終わる力強さ。もはやウッドパーク平尾の作業には欠かせない存在になっています。これからも活動へのご参加よろしくお祈りします! (もりみの)



▲ 草刈りと除伐の開始直後の様子



▲ なんと午前中で終了…

ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～ (その5)

梅雨が明け夏の暑さがピークに達するころになると、黄色と黒色の縞模様で大型のトンボが飛び始めます。その正体は「オニヤンマ」です。顎を開けた状態の頭部をみると、まさに鬼のような形相です。またメスは日本最大で11cmを超える大きさの個体もいます。ウッドパーク平尾では、スズメバチを退治してくれるので最強の助っ人です。しかし、捕獲して虫取網から出そうとした時に噛まれてしまうと大変なことになるのでご注意ください(苦笑)。

なお、名前にヤンマがついていますが、ヤンマ科のトンボではなくオニヤンマ科に属します。

ウッドパーク平尾には、同じ時期にもう1種大型のトンボが飛んできます。「オオヤマトンボ」というヤマトンボ科のトンボです。胸部がメタリックグリーンと黄色の縞模様が特徴です。本来は溜池の縁を縄張りに飛翔していますが、6月から9月にかけて気まぐれにウッドパーク平尾へ飛んできます。このトンボもメスの方が大きく9cm程になります。

この2種のオスを捕獲するのは意外と簡単です。縄張りを規則正しく猪突猛進の如く飛んでくるので、コースに入って待ち伏せすれば、幼児でも捕獲できます。網に入った時の手ごたえを子どもたちに体感してほしいものです。生き物の命の重さも同時に感じます。(もりみの)



▲ 体長11cmを超えるオニヤンマ(♀)

▲ 胸部のメタリックグリーンが特徴のオオヤマトンボ(♂)
(上の写真のオニヤンマと同スケールにあわせています)

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

定期活動やっています!

「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日 (変更の場合もあります)

令和5年：4月15日、5月20日、6月17日、
7月15日、8月19日、9月16日、
10月21日、11月18日、12月16日

集 合：午前10時にウッドパーク平尾
※初参加の方は、事務所へご連絡ください。
詳しい場所などをお知らせ致します。

終 了：午前11時半頃(その後は自由解散です)
対 象：個人会員(家族参加大歓迎)、団体企業会員
内 容：草刈り、ピオトープ整備、生物観察、
健康づくり講座、ピザ焼き体験など
持 ち 物：長靴、軍手、飲料、タオルなど
そ の 他：雨天中止は前日の11時の天気予報で決定
しご連絡します。ご参加の方は事前に事務
局へご連絡ください。

木育活動やっています!

「こども木工教室開催」

●月1ペースで開催しています。
4月下旬から5月上旬に2回開催予定です。

詳細については決まり次第、ホームページ
及びFacebook page でご案内します。

●木工教室、ボランティアスタッフ募集中です。
作品作りの補助、準備・片付けなど。
詳細は、穂の国森づくりの会事務局までご連絡く
ださい。



森づくりベンダー新規設置のご紹介

設置協力企業名	設置場所
(株)クライム	岡崎市羽根町(オートボックス岡崎南店)
(株)ランナー	豊川市光陽町(成田ビル1F)

森づくりベンダーの設置にご協力いただき
ありがとうございます。

森づくりベンダー(右写真)設置にご協力くださる
企業・団体様を大募集しています。CSR活動や福利
厚生の一環として是非ご活用ください。

詳しくは、本会ホームページをご覧ください。



会報誌フォレスト
の常設場所を
探しています!

多くの方々にフォレスト
を読んでいただく
ために、常設できる場所
を探しています。

ご協力いただける場所
がありましたら事務局
までご一報いただければ
幸いです。

婚活アプリに疲れたら...

結婚相談所 Cheers チャーズ 0120-60-1151
豊橋本店

直接電話しなくてOK/
オンライン来店予約
24時間 気軽に質問OK/
AIチャット機能



鉄骨建築

かんとう工業

有限会社

私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも
会員になることができます。
会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org